

# 琵琶湖・淀川流域ネットワーク推進会議

## かわら版

—第6号—

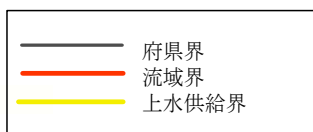
事務局：京都府文化環境部公営企画課

TEL：075-414-4373 FAX：075-414-5470

e-mail：koei@pref.kyoto.lg.jp

～★ 平成23年10月発行 ★～

### 琵琶湖・淀川流域図



### 構成団体

- ・三重県政策部地域づくり支援室  
TEL:059-224-2419
- ・滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖政策課  
TEL:077-528-3360
- ・京都府文化環境部公営企画課  
TEL:075-414-4373
- ・大阪府政策企画部企画室  
TEL:06-6944-6118
- ・兵庫県企画県民部政策室地域振興課  
TEL:078-362-3057
- ・奈良県地域振興部地域政策課  
TEL:0742-27-8489

#### 〔オブザーバー〕

- ・(財)琵琶湖・淀川水質保全機構  
TEL:06-6920-3035

### ■「琵琶湖・淀川流域ネットワーク推進会議」とは■

平成15年3月に京都市等で開催された『第3回世界水フォーラム』を契機に、流域6府県（三重県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県）が、水環境保全のネットワークを構築するため「琵琶湖・淀川流域ネットワーク推進会議」を設立しました。

### ■「琵琶湖・淀川流域ネットワーク推進会議」の活動■

水質や生態系などの水環境保全には、流域での一体的な取り組みが必要であることから、「琵琶湖・淀川流域ネットワーク推進会議」は、府県が連携し、住民・NPOなど多様な主体との協働のもとで進めていくこととしています。

※かわら版では、構成団体における水環境保全に関する取り組みを紹介します。

— URL： <http://www.pref.kyoto.jp/kyonomizu/10400031.html> —

## ■三重県■ 5年連続清流日本一 宮川

宮川は、県内最大の流域面積（920km<sup>2</sup>）と流路延長（90.7km）をもつ一級河川です。建設省が行っている一級河川を対象とした水質調査では、平成 22 年全国一級河川水質ランキングで 5 年連続の 1 位となっています。源流部はわが国屈指の多雨地域である大台ヶ原を源に、深い V 字谷を形成するなど自然景観に優れ吉野熊野国立公園に指定され、特別天然記念物のカモシカ、天然記念物のネコギギやオオダイガハラサンショウウオ等の希少動物が生息するなど豊かな自然特性を備えています。

また、中流部では先土器時代から人が居住した形跡がみられ、古代から耕作を中心に川から恩恵を受けた暮らしが行われ、流域には伊勢神宮にまつわる独自の文化が展開し、滝原宮や齋宮、離宮院など神宮とゆかりのあるところが多くあり、江戸時代には全国から参拝者が集まり、宮川が「禊<sup>みそ</sup>ぎ」の川となっていたなど特色ある歴史文化を有しています。

三重県では、平成 12 年に宮川と共に生きるため、関係市町や国と連携し、住民・企業・行政が協働して地域の豊かな自然、歴史・文化を保全・再生しながら地域の活性化を図るため、宮川流域ルネッサンス協議会を設立し流域圏づくりを推進しています。

活動の一例としては、宮川流域の自然、歴史、文化、産業、伝統などそこに暮らす人々が長い年月をかけ築き上げてきた「地域らしさ」の背景や意味を伝える宮川流域案内人による宮川流域ミュージアムや宮川流域の子供たちの交流と自然や地域の大切さの理解を深めるため「宮川流域子ども川サミット」などを開催し魅力ある地域づくりを進めています。



「夕日に戯れる」 度会橋付近



H23 子ども川サミット 大内山川

## ■滋賀県■ びわ湖の日30周年

1980年（昭和55年）7月1日、滋賀県は全国に先駆けて、琵琶湖の富栄養化の原因となる窒素、リンの排出規制等を定めた「滋賀県琵琶湖の富栄養化の防止に関する条例」（琵琶湖条例）を施行しました。その翌年、琵琶湖条例の施行1周年を記念して、7月1日を「びわ湖の日」と決定しました。今年は、それから30周年となります。

当時、琵琶湖では富栄養化が進み、1977年（昭和52年）5月には淡水赤潮が大規模に発生し、水道水の異臭味障害、養魚場でのアユ、コイなどの斃死被害などをもたらしました。合成洗剤に含まれているリンが淡水赤潮の原因の一つであることがわかり、合成洗剤の使用をやめ、粉石けんを使おうという県民運動（石けん運動）が盛り上がりました。この県民による石けん運動が琵琶湖条例制定の原動力となり、環境先進県として今日に至る歩みの原点となっています。

その思いを今一度確かなものとし未来へと引き継いでいくため、様々なイベントを企画しています。「琵琶湖一周健康ウォーキング2011」や、11月6日には琵琶湖の周囲約235kmを25万人が手をつないで抱きしめる「抱きしめてBIWAKO」の開催も予定していますので、皆さんも是非ご参加ください。

イベント等詳細はこちらへ→ <http://www.pref.shiga.jp/d/kankyو/env-info/index.html>



(成安造形大学 三枝美晴さん 作)

## ■京都■ 「いろは呑龍トンネル」の整備について

桂川右岸地域は、古くから水害に苦しめられてきた地域であり、高度経済成長期以降、市街化の急速な進展に伴い、浸水被害が頻繁に発生してきました。さらに近年、短時間で局地的に猛烈な雨の降る「ゲリラ豪雨」が全国的に多発し、各地で被害が発生しています。

このため、京都府では当地域の浸水被害を解消するために、平成7年度から雨水対策事業として、「いろは呑龍トンネル」の整備に取り組んでいます。

平成13年度には、上流部の北幹線第1号管渠を供用しており、平成22年8月には過去最大の83%、約4万5千m<sup>3</sup>の貯留を行うなど、浸水被害の軽減に大きな効果を発揮しているところで

す。また今年10月には、新たに北幹線第2号・第3号管渠を供用開始し、第1号管渠と合わせると、総延長約4.9km、貯留量約10万7千m<sup>3</sup>（25mプールで約360杯分）となり、災害に強く、安全で安心な暮らしを守るまちづくりの推進に大きく貢献するものと期待しています。

### 【位置図】



### 【管渠状況】



### (北幹線第3号管渠)



## ■大阪府■「淀川の生物多様性を守れ！民・学・官参加による外来水生植物一斉駆除大作戦」

大阪の中心部を流れる淀川はかつて、天然記念物イタセンパラをはじめ、多種多様な水生生物が生息していましたが、外来生物の繁殖拡大などの影響で在来の生物が絶滅の危機に瀕し、生物の多様性が失われつつあります。そこで、大阪府環境農林水産総合研究所・水生生物センターでは淀川の生物多様性の維持に重要な役割を果しているワンドにおいて、地域住民、周辺企業、地元の中学・高校・大学生、関係行政機関などと協働して、昨年6月に「淀川の生物多様性を守れ！民・学・官参加外来水生植物一斉駆除大作戦」を3ヶ所のワンド（大阪市赤川ワンド、守口市庭窪ワンド、寝屋川市点野ワンド）で実施しました。

参加者は当初の予定を大きく上回り、赤川ワンド80名、庭窪ワンド60名、点野ワンド70名（合計210名）と淀川の環境保全への関心の高さが現れた結果となりました。

駆除の対象は、特に生態系に影響の大きい特定外来生物のミズヒマワリやナガエツルノゲイトウ、オオフサモや、浮遊性のアズラなど、5.7tもの植物を駆除することができました。

今年8月には、この活動に参加したメンバーが中心となり『天然記念物イタセンパラを淀川に！』を合言葉に、「淀川水系イタセンパラ保全市民ネットワーク」が結成されました。

水生生物センターでは様々な生物多様性保全に関する手法の研究を行っており、これらの普及を図り、淀川流域全体に広げていきたいと思っています。



天然記念物イタセンパラ



本流とワンド



駆除活動状況

## ■兵庫県■ 海苔の色落ち対策について

兵庫県の瀬戸内海沿岸は、有明海に次ぐ養殖海苔の一大産地で、全国の生産量の15%前後を占めていますが、近年、養殖海苔が黄褐色に褪せる「色落ち」という現象が起これ問題になっています。この色落ちが発生すると、海苔の商品価値がなくなってしまいます。

海苔の色落ちの主な原因は、冬期の養殖シーズンに、海苔の栄養源となるチッ素やリン等が、珪藻等の植物プランクトンに奪われてしまうためだとされており、水質の改善によって海水中のチッ素等の量が減っていることが遠因であるとも言われています。

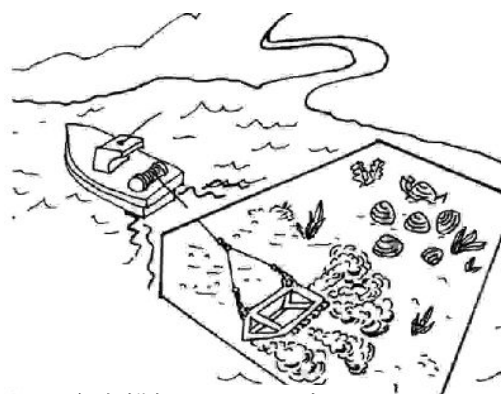
そこで兵庫県では、陸域から海域への円滑な物質循環を促し、海苔の育成に必要となる栄養塩を供給するため、以下のような取り組みを行っています。

### ①海底耕耘（こううん）

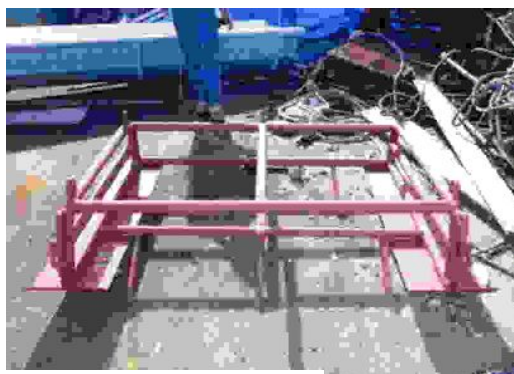
漁船で耕耘用の桁を牽引して海底を攪乱します。海底の低質を耕耘し、底泥中の栄養塩の溶出を促進し、海水中へ栄養塩を供給します。また、低質の悪化を防止したり底生生物が多様化するなどの効果も期待できます。

### ②ため池の池干し・かいぼり

農業用水を貯留するため池には豊富な栄養分があります。農業者の減少や高齢化等であまり行われなくなった収穫後の放水や底さらい（かいぼり）等を復活させ、海へ栄養塩を供給します。県内では、漁業者が農業者と共同で実施しています。



海底耕耘のイメージ



海底耕耘に使用する桁

## ■奈良県■ 水の週間 ダム見学会開催 ～室生ダム・布目ダム～

奈良県では、毎年8月第1週の「水の週間」のイベントとして、奈良県民の皆様を対象に、水資源機構と共催でダム見学会を開催しています。

今年は8月3日（水）、奈良県の室生ダム・布目ダムにて開催。32名の方が参加されました。当日はとても暑く、汗をぬぐいながらの見学会となりました。

近鉄大和八木駅に集合後、まずは室生ダムへ。室生ダム管理所の会議室で説明を受けたあと、ダム内部の見学に向かいます。堤体のエレベーターで内部へと降りると、内部は外とは打って変わってひんやりとした冷たさ。初めて入るダム内の様子に、皆さん驚いた様子でした。

布目ダムでは、ダムの説明のあとに、「利き水」を行いました。利き水とは水の飲み比べのことです。市販のミネラルウォーターの水と、参加者の方々も普段口にしてしている水道水などを飲み比べ、違いを当てるクイズなどで盛り上がりました。

ダム内部で涼しさを実感しながら各部分を見学し、長い階段を歩いて外に出たところはダムの全体像が一望できる絶好の撮影スポットで、皆さん思い思いに記念撮影をしていました。

参加者の方々からは様々な質問が飛び出しましたが、所長を始め管理所の皆さんの丁寧な説明で、ダムや水について理解が深まり、普段は見ることのできないダムの内部を見学し、その役割や歴史を実感することで、より水の大切さを身近に感じ、水への意識を新たにいただいたことと思います。

### 【室生ダム】



室生ダム堤体



ダム内部。長い階段です



熱心に説明を聞く参加者の皆さん

### 【布目ダム】



布目ダム堤体



ダム内部には様々な設備が



利き水の様子

当日の様子は、奈良県地域振興部地域政策課のホームページにも掲載しています。

[http://www.pref.nara.jp/dd\\_aspx\\_menuid-25216.htm](http://www.pref.nara.jp/dd_aspx_menuid-25216.htm)


## ■財団法人 琵琶湖・淀川水質保全機構■

財団法人 琵琶湖・淀川水質保全機構（以下 BYQ）では、琵琶湖・淀川流域のより多くの皆様に水環境保全活動に参加いただくとともに、活動団体（協賛団体等）相互の連携の和を広げることを目的に、平成 16 年より「BY スタンプラリー」を実施しています。

本年 6 月より、琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会との連携により、【ミュージアム編】も新たにスタートしました。従来のルールに加えて、流域圏で水に関する情報を発信している協賛施設を巡り、集めたスタンプ数に応じて中級や上級の認定が受けられます。全 25 施設の制覇を目指してどんどん参加して下さい。

皆様が協賛団体の活動に参加された時又は協賛施設を見学された時に、専用の台紙にスタンプを押し、そのスタンプを集めて BYQ に送っていただくと景品がもらえる仕組みになっています。詳しくは BYQ ホームページ (<http://www.byq.or.jp/by-stamp/>) をご覧下さい。

### 【BY スタンプラリーのルール】



**Step 1 まずは初級に挑戦！**

NPO団体スタンプ 2コ

※日付が異なる場合は同じ団体のスタンプでもOKです。

または

NPO団体スタンプ 1コ + 協賛施設スタンプ 1コ

または

協賛施設スタンプ 2コ

▼ 応募ハガキを投函！

**OK 初級クリア** ⇒ 中級台紙を送付

**NG 応募ハガキを返却** ⇒ 初級に再挑戦

【ミュージアム編】 NEW

ミュージアム編に達むときは〔かわら版の初級台紙〕と〔ミュージアム編マップ〕の両方に協賛施設のスタンプを押してね

初級ピンバッジプレゼント！

次はステップアップにチャレンジ！

**Step 2 初級をクリアしたら中級に挑戦！**

NPO団体スタンプ 3コ

※日付が異なる場合は同じ団体のスタンプでもOKです。

または

NPO団体スタンプ 2コ + 協賛施設スタンプ 1コ

または

協賛施設スタンプ 12コ

▼ 応募ハガキを投函！

**OK 中級クリア** ⇒ 上級台紙を送付

**NG 応募ハガキを返却** ⇒ 中級に再挑戦

【ミュージアム編】 NEW

〔ミュージアム編マップ〕に協賛施設のスタンプを押してね。中級クリアには〔ミュージアム編マップ〕と〔中級台紙〕両方の中級認定欄に認定印が必要です。12コ目となる施設の受付で押し付けてね。〔ミュージアム編マップ〕は引き続き使います。送らずにそのまま持っていてね！（〔中級台紙〕だけ送ってね）

⚠ 認定受付ができない施設がありますのでご注意ください。

中級ピンバッジプレゼント！

← 認定欄は台紙の下にあります。

**Step 3 中級をクリアしたら上級に挑戦！**

NPO団体スタンプ 5コ

※日付が異なる場合は同じ団体のスタンプでもOKです。

または

NPO団体スタンプ 4コ + 協賛施設スタンプ 1コ

または

協賛施設スタンプ 25コ

▼ 応募ハガキを投函！

**OK 上級クリア** ⇒ C4台紙を送付

**NG 応募ハガキを返却** ⇒ 上級に再挑戦

【ミュージアム編】 NEW

〔ミュージアム編マップ〕に協賛施設のスタンプを押してね。上級クリアには〔ミュージアム編マップ〕と〔上級台紙〕両方の上級認定欄に認定印が必要です。25コ目となる施設の受付で押し付けてね。（応募のときは〔上級台紙〕だけ送ってね）

⚠ 認定受付ができない施設がありますのでご注意ください。

上級ピンバッジプレゼント！

【ミュージアム編】はこれで完全制覇です！引き続きチャレンジコースクリアに向けて協賛団体の活動に参加しよう！